商工だより

No.48　新春号



繁栄の進路をひらく商工会議所

奈良商工会議所

宇部興産株式会社
宇部セメント特約販売店
宇部コンクリート工業特約店
不二見タイル株式会社特約店

タイル施工・スレート施工販売

合資会社 大東（ダイトー）商店

奈良市紀寺町908の3
電話 0742－23－5735代

1年もの最高利回り
ワリショー
年6.213%無記名

5年もの最高利回り
リッショー
年7.3%無記名

ダッシュがつく 最高利回り

日本の産業を支える金融機関
商工中金 奈良支店
奈良市林小路町25番地
（奈良郵便局北隣）TEL（24）1221

奈良近鉄タクシー株式会社

本社 奈良㉓1181 大代表

取締役社長 杉本勝彦

＜事業場一覧＞

奈良	奈良㉒5501代	九条	郡山②7246	大宇陀	大宇陀③0018
近鉄前	〃 ㉒5271	天理	天理②1453	五条	五条②3297代
法華寺	〃 ㉒0966	八木	橿原②1032	下市	下市②3705代
西大寺	〃 ㊺0987代	橿原神宮	〃 ②0478	上市	吉野2961代
あやめ池	〃 ㊺0095	壺阪	高取 2043	吉野山	〃 3021
学園前	〃 ㊺0091代	高田	高田㊷5921代	柏木	柏木 33
登美が丘	〃 ㊺0781	御所	御所②6261代	吉野	吉野5305代
富雄	〃 ㊺0096	桜井	桜井②6288代	紀寺工場	奈良㉓1187
生駒	生駒③2067	榛原	榛原②0551代		
生駒台	〃 ③2965				

大和路めぐりにいちばん便利な
名所遊覧バス



●公園名所めぐり 3時間／600円
●奈良・法隆寺・西の京めぐり 6時間半／1,330円
●平城・浄瑠璃寺めぐり 6時間／1,260円
●飛鳥・万葉めぐり 7時間／1,240円
ほか数コース毎日発車
■のりば＝国鉄・近鉄奈良駅前
お問合せ 日本交通公社・近畿日本ツーリスト・日本旅行

奈良交通
大阪（06） 939 4571
京都（075） 311 1165
奈良（0742） 22 1171

謹賀新年

昭和四十七年元旦

奈良商工会議所

会頭　大森久司

副会頭　河合利喜蔵

〃　小山栄三郎

専務理事　中村貞三

事務局職員一同

目次

年頭の辞……会頭　大森　久司……2
新春の辞……奈良県知事　奥田　良三……3
年頭にあたって……奈良市長　鍵田忠三郎……4
年頭所感……日商会頭　永野　重雄……5
ね年の抱負……7
経済基調の変化と景気動向……由比　凌……8
会議所のうごき……10
米国の貿易保護政策による影響調査……14
円切上げ一六・八八%に決定……16
観光ミニ情報……17
随筆　上手な話し方……今福　祝……18
昭和四十七年度初任給調査まとまる……20
人材開発コーナー……22
会員消息……23

深夜電力利用
ヒートポンプ式

すべてを電気が解決…

セントラル冷暖房・給湯

●くわしくは、お近くの関西電力へどうぞ！

みなさまの
関西電力

内　外　国
特許・実用新案・意匠・商標
出願・審判・鑑定・相談・侵害事件・訴訟
（奈良商工会議所中小企業相談所顧問・相談日第3木曜日）

蔦田（ツタダ）内外国特許事務所

弁理士　蔦　田　璋　子

大阪市東区内本町橋詰町30番地
（堺筋本町東へコクサイホテル南50メートル）
電話　大阪（06）941—0702～0704



年頭の辞

奈良商工会議所
会頭　大森久司

昭和四十七年の新春を迎え謹んでお慶びを申し上げます。

さて、御高承の通りアメリカのドル防衛策とこれに対する円の変動相場制への移行、また流動的な国際通貨情勢等により、回復を見つつありました我が国の経済も、これらの国際経済のなかにあってきびしい試練の場に立たされたわけであります。

このような情勢の中で我々産業人は新しい年を迎えるわけでありますが、特に本年は新しい時代の原点に立つといった厳しい自覚と新しい内外環境の変化に対処し得るよう合理化、近代化を更に押し進め、また、今までの既成観念にとらわれず中小企業の良い一面である柔軟な経営姿勢によって、新しい時代への転換を図る第一歩を力強く踏み出す決意を必要とするときであると存じます。

当所と致しましては、この新しい転期よりの出発を深く再認識し、常に委員会、部会等により会員各位の意見を汲上げ山積する諸問題を取り上げ、商工業界の総意を結集して、商工会議所の使命を達成して参る所存でありますので倍旧の御支援をお願い致しまして新年のごあいさつといたします。



新春の辞

奈良県知事
奥田良三

輝やかしい一九七二年の新春を商工会議所の皆様とともに迎えましたことを心からお慶び申上げます。

さてここ数年来、わが国経済は十%以上の成長率を維持し、国民総生産世界第二位の経済大国にまで発展し国際経済上重要な地位を占めてまいりました。

しかしながら、すでに御承知のとおり国内の景気動向は、一昨年の半ば頃より沈滞し、生産出荷の伸び悩み、設備投資のさし控え、滞貨指数の上昇等の現象が現われたため政府においては一昨年秋から昨年にかけての再三に亘る公定歩合の引き下げによる金融緩和措置、公共投資の増額等により昨年後半より緩慢ながら景気は上昇するものと観測されていたのでありますが、去る八月十五日のニクソン大統領声明による米国のドル防衛新経済政策に端を発し、輸入課徴金の創設、更には日本政府の円の変動相場制への移行、日米繊維製品の輸出規制、その他円の切り上げ問題と引き上げ巾について等、一連のドル・ショックは輸出関連企業のみならず中小企業全般に大きなショックを与え、かってない経済危機に直面しているのであります。

加えて、国内的には若年労働力の不足、賃金の上昇、公害処理の問題、技術革新などの諸問題が山積しており内憂外患まことに多事多難の年であります。

このようなきびしい国際経済・環境の中にあって新春を迎え、皆様方はこれが難関突破のため種々創意工夫をこらし迅速かつ適切な経営対策をとるべく懸命に努力されているところでありますが、県としてもこれが対策について県政の重要な課題として積極的に取組み、金融制度の充実強化、協業化の促進、高度化・構造改善事業の効率的推進をはかるとともに工業試験場を通じての技術指導更には中小企業総合指導所を通じての経営診断指導の強化等、万全の措置を講ずる所存であります。

どうか皆様方におかれましても商工会議所を中心としてその組織の力を拡充され更に近代化への熱意と新しい時代感覚をもって自から生きる道を切り開き、明るい未来に邁進され、よりご繁栄されることを心からお祈りいたしまして新春の御挨拶といたします。

年頭にあたって

奈良市長

鍵田忠三郎



輝かしい昭和四十七年の新春を、奈良市二十二万市民のみなさんとともに迎えることができましておめでとう存じます。

奈良市の理想とする姿は「近者よろこび遠者きたるのまちづくり」にあると存じますが、本年は特に〝生きがいのあるまちづくり〟を年間の眼目として掲げ、市政を推し進めさせていただきたいと存じております。

五年前、奈良市は断水・赤字・高い税金・ごみ・し尿・人口急増の諸問題と、まことに暗たんたる、状態に市政はおかれたのでありますが、われわれは忍耐のうちにそれを解決し、市民の皆さんの協力のもと、すべてこの難問題を克服してまいりました。今や昨年来の新鋭三百六十トン処理の清掃工場の完成で、この山積の諸問題も一応解決というところにいたりました。

昨年は「咲く花の匂うが如きまちづくり」を年間目標にかかげ、明るい住みよい、しかも花のかおるが如き豊かなまちづくりに精進したのでありますが、おかげで公害・物価・賃金・教育環境・住宅・犯罪・火事等、十五の題目を他都市と比べて〝日本一暮しよい奈良〟ということになり得たのであります。

そこで、私はその日本一暮しよい奈良のまちを歩一歩進めて、市民全部が生きがいに満ちみちて生活できるまちにせねばならないと考えております。それがために本年は、

- 道義のまちの建設
- 福祉天国の建設
- 健康にして未来を拓くまちの建設
- 生涯教育のまちづくり
- 緑と太陽と水と心の豊かなまちづくり
- 新平城京のまちづくり

を目指したいと存じます。

私たちの先祖の建設した偉大にして心豊かな平城京の昔を想い、開都千二百六十二年の新春に決意を新たにいたしたいと存じます。

そして、われわれはその努力により、火災発生件数の全国一少ない平和なまち奈良を建設し得たのでありますが、日本一の住みよい生活環境に、日本一生きがいのあるまち奈良を築いてまいらねばならぬと、年頭に際し、市民の皆さまとともに決意を定め、これが実現を期し輝かしい昭和四十七年にいたしたいと祈念する次第であります。

年頭所感

日本商工会議所
東京商工会議所
会頭　永野重雄



昭和四十七年の新春を迎え、謹んでお慶びを申しあげます。

思えば、昨年はわが国にとって、まことに大きな試練に直面した年でありました。すなわち、一昨年来の景気後退、公害、社会資本の立ちおくれなど多くの問題をかかえているなかにあって、米国のドル防衛策の実施、これに続く円の変動相場制への移行など国際通貨情勢の動揺は、不況の深刻化・長期化をもたらし、産業界に少なからざる影響を与えました。

私は、これらの問題に思いをいたすとき、今年こそ、与えられた内外の試練を謙虚に受けとめて、明るい豊かな国民生活と世界平和の実現のため新たな決意と努力の年としなければならないと痛感するのであります。

このような状況下において、まず、対外政策面においては、わが国が率先して世界の自由貿易体制の推進に努力することであると考えます。このためには、輸入自由化や関税引下げを一層促進するとともに、輸出のあり方についても、これまでの輸出拡大の型をかえ、長期にわたって持続安定的な輸出市場の発展が可能な方向で秩序ある輸出をすすめていくことが肝要でりあります。

私は、米国のドル防衛策の実施直後にハワイで開かれました日米経済協議会の代表者会議に出席した際、米国のかかえている苦悩がいかに大きいかを痛感いたしましたが、このたびの国際通貨問題は、これを一つの側面からみれば、わが国の従来の貿易発展の型を改めるべき時を告げるシグナルであるともいえると思います。

これとともに、発展途上国に対する経済援助については、相手国の立場に終始細かい心づかいを払い、その量的拡大とあわせて、技術協力の推進や援助条件の緩和等援助の質的向上にも一層の努力が払わなければなりません。

こうしたなかにあって、われわれ経済人の果たすべき責務は、開発投資や技術協力などの分野できわめて大きいといわなければなりません。

なお、私は昨年十一月中国を訪問し、自らの目で新しい中国を眺め、また周首相とも会談し深い感銘を覚えて帰国したのであります。速やかに日中関係が正常化され、世界の平和に貢献することを待望するものであります。

一方、国内経済政策面においては、先づ新たな円レートに対応した産業構造の改善や中小企業の高度化と転換を全力を挙げて推進すべきであり、次に新たな経済発展の体系のもとにこれまでの経済成長の成果の上に立って一九七〇年代の課題である「真に豊かな国民生活の実現」を達成していくことであります。このためには、このたびの国際通貨問題で困難な事態に直面しつつある企業に対する対策に遺憾なきを期するとともに、財政の主導の下に景気の速やかな回復をはかりつつ、公害、社会資本の立ちおくれ、物価問題等数多くの問題を克服していかなければなりません。

当面の国際通貨問題とこれに伴う不況の深刻化に対し、政府当局がいち早く各般の措置をとられたことは感謝に堪えないところであります。しかしながら、事態はなお厳しいものがありますので、今後とも推移に応じて、適切な対応措置を講ぜられますことを切望する次第であります。

公害問題は、最近、とりわけ重要性を高めてきておりますが、公害防止の途上には、企業側の努力だけでは容易に解決しえない多くの難問が横たわっております。公害の防止は、都市問題、社会資本の立ちおくれ等を克服していくこととも相互一体的な関係にたつ課題であります。私は、産業界が今日、いろいろな問題をかかえながらも、産業活動の窮極の目的が国民の福祉向上にあることを自覚し、公害の防止に積極的に取り組みつつあることを高く評価するものでありますが、これが緊要性にかんがみ、産業界の各位の一層の努力を切望いたしますとともに、政府当局のとくに中小企業に細かい配慮を加えた公害防止対策の積極的な推進を願うものであります。

また、これからの経済を「真に豊かな国民生活の実現」を目ざして発展せしめていくためには、とくに中小企業と流通部門において、内外環境の変化に適応するため、その体質の改善が強く要請されているところであります。これからの産業政策においては、経済の発展方向に即して、中小企業と流通部門の構造改善と近代化をすすめることと、全国事業所の八〇%をこえる小規模企業の育成振興をはかることに最大の重点が置かれるべきであると考えるのであります。

さて、今年は、われわれ国民の長年の悲願である沖縄の本土復帰がいよいよ実現する年であります。ここまでこぎつけることができましたのは、日米間の相互理解と友好信頼関係のたまものにほかなりません。このうえは、温かい受入体制を整え、円滑な復帰を実現し、「豊かな沖縄県づくり」に大きな努力を傾けることが、われわれの責務であると思うのであります。

また、今年の二月には、札幌オリンピック冬季大会が開催されます。私は、この国家的行事である大会に国民の多数が協力し、是非ともこれを成功させたいと願うものであります。

終りに、私は、全国四百五十八の商工会議所とともども関係諸団体ともあい協力し、活力に満ちた明るい福祉社会の建設を目ざして今年も限りなく前進する決意であります。

皆様の一層のご協力をお願いいたす次第であります。

謹賀新年

会頭
大森久司
近畿電気工事㈱会長

副会頭
河合利喜蔵
㈱ひのり商店社長

小山栄三郎
小山㈱社長

専務理事
中村貞三
奈良商工会議所専務理事

常議員
乾太郎
㈲奈良明新社代表社員

今西清兵衛
㈱今西清兵衛商店社長

植田喜三郎
植田蚊帳㈱代表取締役

上村次郎
萬勝堂代表者

大東善治
大和観光㈱社長

岡本栄一
岡本友芳軒代表者

垣内藤一郎
㈱垣内商会社長

亀田源治郎
㈱南都銀行頭取

上林安彦
上林化学㈱社長

小松正幸
奈良三菱自動車販売㈱社長

近東弘七
共同精版印刷㈱社長

下出久治郎
㈱下出商会社長

杉本勝彦
奈良近鉄タクシー㈱社長

谷井友三郎
谷井興業㈱社長

野村萬作
㈱三栄相互銀行社長

春田明次
春田工業㈱社長

細田義雄
㈱天義堂社長

増田義一
㈱増田商店社長

水谷嘉六
㈱あかしや商店社長

吉川晃
奈良吉川産業㈱専務取締役

監事
阪田富三郎
㈲いろは旅館代表社員

杉山嘉一
杉山繊維工業㈱社長

富森光弘
奈良市信用金庫理事長

議員
荒木直三郎
㈱あらき商店社長

安藤四良
奈良交通㈱社長

石谷昌生
睦興業㈱社長

稲田安功
㈱稲田商店社長

植原一光
植原梅月堂代表者

臼井明
光学堂時計眼鏡店代表者

浦上崧
サン・オリエント化学㈱会長

大谷行雄
奈良近畿日産自動車㈱専務取締役

奥田由三
㈱モナーテ研究所社長

尾田利一
㈱尾田組社長

越智岩太郎
日本染織工業㈱社長

海保勝雄
㈱奈良ダイハツ専務取締役

川合弘
㈾川合商店業務執行社員

川本常男
㈱協和銀行奈良支店長

菊池武三郎
奈良トヨタ自動車㈱会長

岸井英夫
近畿電気工事㈱奈良支店長

北浦静夫
キタウラ代表者

小林茂市
三和住宅㈱社長

小山恭二
小山㈱取締役

島輝夫
関西電力㈱奈良支店長

杉本甚七
㈱北辰電機製作所奈良工場代表者

鈴木恒夫
㈱鈴木商店社長

塚本清
奈良石油㈱社長

議員
寺川達雄
㈱テラカワ専務取締役

豊沢儀雄
奈良豊沢酒造㈱社長

中谷安治
㈱中谷玉水堂社長

中塚哲
㈲あこや楽器店社長

成田有年
和光証券㈱奈良支店長

西田誠宏
㈱あしびや本舗社長

南畝泰一郎
㈱梅花堂社長

箸尾達哉
㈱平城社長

橋本政次郎
㈱橋本商店社長

林亨
野村証券㈱奈良支店長

平井龍一
㈱平井真美館社長

福井庄八
㈱勝栄堂社長

藤田三郎
幸信産業㈱社長

堀鉱一郎
㈱近畿建材社長

前田耕哉
㈱前田陶器店社長

真島敏雄
第一勧業銀行奈良支店長

桝谷博行
㈱桝谷建築設計事務所代表取締役

松岡太郎
三笠物産㈱社長

松本義夫
㈱日本交通公社奈良営業所長

三岡嘉三郎
三岡商事㈱社長

水落新司
㈱幸福相互銀行奈良支店長

森上三郎
日本通運㈱奈良支店長

森本義治
㈱森本家具社長

八尾喜司雄
㈱三山旅館社長

山田清
(有)コマシン商店社長

吉田淳一
吉田㈱社長

ね年の抱負

（敬称略順不同）

お尋ねした項目は
(1) 新年の抱負（特に貴殿の当り年ですが…）
(2) 本年の一般経済の見通しをどうお考えですか
(3) 貴業界の見通しは
(4) 貴社（店）の本年の経営方針

日本染織工業㈱社長
越智岩太郎

(1) 亥（核は種の中のたね）に終って子（根）に始る落ちた種子が根を張る。本年は子の当り年根を培養し立派な幹が育つ、この天地自然の摂理に思いを致し、心を新たにして再出発すべき重要な年である。

(2) ある意味で米国に依存し過ぎた我が国は、自主独立の転換期に迫られている。輸出規制、ドル・ショック、平価調整等々、不況は戦後最大の危険をはらんでおり、本年こそ体質改善への好機を生かす年である。

(3) 生産即販売の一貫体制の許、自社の製品は自分で売る独自の路線をうちだし、直営の商事部と営業所を通じ、全国の販売網を確立しているため、業況は堅調に推移するものと確信している。

(4) 根を培養し、幹を育て、実をみのらせる子の当り年に思いを致し、昨年暮、多額の設備投資により、高度性能最新鋭の生産機械を新設し、合繊並に壁裏地加工を新たに開発、積極的経営方針を樹立した。

（明治二十一年十月十日生）

春田工業㈱社長
春田明次

(1) 五回目の年男に巡り合って健康で働かして頂いていることは此の様に頑健な身体に生んで貰い且育てて呉れた、亡き父母に対し深い感謝の念に堪えません。昨年は辛亥の年で何か起り易い年だと浅田敏章先生におどかされた通り荒模様のまま過ぎて行きました。

二十日ねずみは此の間、土蔵の中で押入れの奥で天井の裏で鬼を殺して自分の当り年を待っていた様です。一年は三六五日ですが、子年は三六六日と一日儲けている。

よく食べよく働きよく貯えて大子ずみに成ることに努めたいものです。

（大正元年十一月二十五日生）

奈良豊沢酒造㈱社長
豊沢儀雄

(1) 還暦を迎え気分を一新して健康に留意し更に一段の活躍をしたいと念願致しております。

(2) 更に不況は増して行くと思いますが、後半は次第に好転してゆくと思いますので、一段の努力を必要と致します。

(3) 酒造界の見透しとしては近代化構造改善の三年目に入りいよいよ実力を発揮せねばならないと思っております。

(4) 堅実経営と努力。

（大正元年九月十日生）

㈱梅花堂社長
南畝泰一郎

(1) 特に抱負という程の事でもないが、目標を定め、それを完遂するために精一杯の努力をしていく。

(2) ドル・ショック以来、内外環境は一段と厳しくなっているため、不況は相当長期化しそうだが、通貨問題が解決すれば徐々に、回復していくのではないか。

(3) みやげ品販売業者は観光客相手のため売上の急な増加は望めないので、このまま横ばいが続きそうで期待が薄い。

(4) 積極的に新しい品物を開発することも重要だが、今年は、伝統のある現在の商品の販売拡充を地道に図っていきたい。

（明治三十三年十二月十八日生）

㈱テラカワ専務取締役
寺川達雄

(1) ね年の子の語源に二つあり曰く「生みふやす」曰く「生み育てる」前者が高度成長を意味するとせば、どうか本年からは後者の年でありますよう。

(2) 放慢経営と堅実経営、消極経営と積極経営との格差のつく年であり、その意味では一番こわい年のように感ぜられる。

(3) 消費支出は上昇気配であるから、売上そのものは心配ないが経費の増大と利巾とのアンバランスが命取りになりかねない。

(4) 何が買われるかを見いだす努力をして、無理のない販売で積極的な経営を行なう。

（大正十三年五月二十二日生）

経済基調の変化と景気動向

奈良県立短期大学教授　由比　凌



とくに問題を日本経済を取り巻く内外環境との相互関連で把えてみると、次のような諸条件との絡み合いにおいて今回の不況の持つ特徴が明らかとなってくる。

第一に今回の不況が世界的な景気後退局面の中で発生しているという点である。戦後の世界経済をふり返ってみて特徴的なことは、通常〝景気のすれちがい〟といわれている現象が続き、米国が不況の時には欧州、日本が好況、またはその逆という形で景気循環の影響を相互に相殺し合うメカニズムが働らき、そのことの結果として世界経済は全般的に順調な成長を持続し、世界貿易も拡大発展してきた。

ところが最近の情勢は全くこれまでと一変し、米国が泥沼的な不況の中で呻吟しているのに加えて、EC随一の高度成長国である西ドイツにも不況の影が産業界に次第に拡がるなど世界主要先進国がおしなべて過剰生産基調に移行してきている。普通このような局面では財政規模の拡大、金融緩和政策などを武器に強力な景気刺激策を講じるのだが、一方で世界的な消費者物価騰貴が続いているのでこれにも限界があり、結果的には不況と物価高が手をたずさえて進む、すなわち〝スタグフレーション〟が世界的に激化することとなる。このことは当然の帰結として世界貿易の拡大を制約し、わが国にとっても輸出成長率を鈍化させる要因となることはいうまでもない。

第二は発展途上国との市場競争が激化している段階で円切り上げという、それ自体わが国商品の国際競争力を減殺する効果をもつ措置を実施しなければならないということである。このことはすでにわが国主要輸出先である米国市場で雑貨製品を中心に激しい追い上げをうけているという現在の事態を一段と深刻化させることはいうまでもない。とくに対発展途上国問題が、わが国とこれら諸国との賃金格差問題として、換言すればわが国中小企業対現地民族資本の競合の問題として取り上げられることが一般的であるが、これについてはすでに発展途上国に進出した米国等の先進国企業が現地低賃金労働力を先取りして低コストの商品生産を行ない、これを米国市場に輸出するという傾向も見落すことはできない。この点に着目すればわが国と発展途上国との競合の問題は、実体的には日米資本競争の一環であるという角度から認識しておく必要があろう。

第三に国内的な条件として、これまでのわが国の高度成長を推進してきた自動車、カラーテレビ、合繊などのいわゆる成長産業が需要の屈折点を迎えしかもこれらに代わるべき花形産業が十分開花していないというマクロ的にみた問題点を指摘しておかなくてはならない。

以上のようなこれからの日本経済の成長を制約する内外の循環的・構造的諸要因が鋭く錯綜する中で円の大幅切り上げがを迎えたことは、戦後最大といってもよい深刻な経済基調の変化に日本経済が直面していることを物語るものである。

二、景気の現状

周知のように四十五年八月を転機として日本経済は四十一年秋以来の大型好況から景気後退過程に足を踏み込んだが、この不況は在庫調整のほぼ一巡する四十六年七―九月に底入れし、その後緩慢ながらも回復の過程に入るというのが支配的な予測であった。

しかしニクソン声明とそれに伴う通貨不安の激化、さらに変動相場制移行は、こうした景気観を突き崩し、先に述べたような不況長期化の様相を強めている。

このことはこれまで景気下支え要因としての役割を果してきた輸出が今後伸び悩むうえ、産業界の心理的動揺が民間設備投資の停滞に拍車をかけるからで、このため四十六年度経済見通し（政府改訂試算）による実質経済成長率も五・五%と、当初見通しの一〇・一%を大幅に下回り、戦後最大の不況といわれた四十年度（五・四%）とほぼ同水準を示すようになった。

◇経済成長率の推移（%）

	名目	実質
昭和30年度	13.3	11.4
31	12.3	6.8
32	13.0	8.3
33	4.8	5.7
34	15.5	11.7
35	19.1	13.3
36	22.5	14.4
37	9.1	5.7
38	18.1	12.8
39	15.5	10.4
40	10.6	5.4
41	16.7	11.4
42	17.5	13.1
43	17.8	13.7
44	18.3	12.6
45	16.5	9.7
46	10.0前後	5.5前後

このような中で、産業界は大企業を中心に輸出市場の転換や国内販売網の再編成など経営戦略の変更に努力するほか、減産体制の強化や一時帰休制の実施、さらに不況長期化に対処するための新規採用の停止や人員整理に踏み切る例も増大しており、最近では鉄鋼をはじめとする主要業界で不況カルテル結成の動きがめだつなど不況対策は全般的にみて急速に本格化してきている。

また四十五年史以来の実態経済の悪化に加えてこのような不況対策の強化は企業の決算状況に反映し、四十六年九月期決算は二期連続の減益決算となり、このままで推移すれば、三月期決算も連続減益決算となるのは免れないであろう。

三、円切り上げ下の日本経済

円の変動相場制（実質的な円切り上げ）が実施された段階で殆んどゼロの水準に落ち込んだ新規輸出成約も、その後次第に回復し、一一月には平常の七～八割の水準にまで達したものとみられている。このような新規輸出成約の回復は、大商社による円高自主レート（九月頃の三二〇円から最近では三一五円へ、切り上げ率では一二・五%から一四・二九%へ）が定着したためとされているが、実際はそればかりでなく鉄鋼、プラント類、化学品、繊維、雑貨等の広汎な業種を中心に、国内不況に伴う輸出ドライブがかなり大きく作用しており、そのためドル建て輸出価格の引き上げはごく一部分で大部分は出血輸出に近いものとみられている。

来るべき多角的通貨調整で円の大幅切り上げが実現した場合は、このような傾向が一段と強まることが予想される。

すなわちドル建て価格の引き上げに耐えられる自動車、家電など国際競争力、抜群の業種を別とすれば、円の大幅切り上げに伴って大部分の業種では出血輸出による採算の悪化を蒙むるか、徹底的な合理化によるコストダウンでドル建て価格の引き上げを防ぐか、さもなければ過当競争も覚悟の上で国内へ市場転換をはかっていかなくてはならない。

しかもこのような合理化旋風と過当競争の激化は最終的には中小企業の分野で集中的に発生することとなる。

従って中小企業は当面、①円切り上げによる直接的な輸出減少、②不況長期化による有効需要の一般的減退、③大企業による発注量の手控え、発注単価の引下げ等に直面しなければならない。これらに加えて、④円切り上げに伴う外貨の流出から、現在の金融超緩慢基調が次第に引締まり基調に転じていくこと、⑤不況段階に固有な産業再編成の進行、とりわけ大企業による中小企業の吸収合併、中小企業分野への大企業の進出が注発になること等の条件が強まってくるので、中小企業はここに最大の試煉に立たされることとなる。

このような事態に対処するため政府は補正予算、国債発行、減税など一連の景気刺激策を軌道に乗せ、また日銀公定歩合の第五次引き下げも準備されているが、日本経済は現在冒頭にも述べたような内外経済基調の転換期に遭遇していることから景気の早期回復は期待できず、むしろ当面はスタグフレーション（不況下における物価高）現象だけが激化するという予想がたてられる。

ただし以上は円の大幅切り上げだけを前提とした話であって、国際通貨調整の進展にもかかわらず輸入課徴金撤廃の時期が不確定であること、また日米間交渉の焦点が円切り上げからさらにわが国貿易・資本の自由化、関税引き下げ、非関税障壁の撤廃、対米輸出急増品目の自主規制、防衛の肩代わり等へと拡大し、これまでの日本経済の成長を支えてきた日米経済協力体制の構造を根底から再編成する方向にエスカレートしてきているだけに、〝ポスト通貨調整〟の動向にも十分慎重な配慮を払うことが必要である。

（四六・一二・一二）

会議所のうごき

（十月～十二月）

ニコニコセンター（小売市場）診断の実施

当所中小企業相談所及び奈良市観光商工課では十月十九日（火）ニコニコセンター（小売市場）の診断を実施、前回実施時との入店客数の増減及びお客様のアンケート（主として市場に対する客の声）を中心に調査した。

又その結果についての報告会を十一月十六日（火）午後七時より商人会会議室に於いて行なった。

◎診断班

班長　当所指導課長　中村隆英
班員　奈良市観光商工課
　　南畑、葛原係員
　　奈良商工会議所
　　吉田、鈴木、大井各指導員

第七十三回珠算能力検定試験の施行

十月二十四日、奈良県立短期大学に於て標記検定試験を施行、受験者三九二名の内、一四四名が合格した。（合格率は三六・六％）又級別では、一級三名、二級一三名、三級七三名、四級二一名、五級一五名、六級一九名が合格した。

尚、奈良商業高校の森田理子さんが一級に満点合格し、日本商工会議所より表彰されました。

年末出張相談所の開設

年末の資金需要等に資するため、当所中小企業相談所では十月二十五日（月）―二十八日（木）の四日間左記の通り出張相談所を開設経営指導員が相談業務を担当した。

◎開設の日時と場所

十月二十五日（月）　奈良製墨協同組合　杉ケ町
十月二十六日（火）　奈良珠算学校　大宮町
十月二十七日（水）　奈良市伏見連絡所　西大寺町
十月二十八日（木）　奈良市西部公民館　学園町

尚相談件数は延五十六件あり相談内容は金融23件、経営10件、労務8件、税務5件その他取引等10件であった。

広告向上運動の実施

消費者に対する商品情報伝達の手段として重要な役割を果している広告活動の適正化を計るため通産省は、広告の向上推進事業を日本商工会議所に委託したが、これの一環として奈良県内では、当所管内を対象として広告関係業者と消費者を中心にした懇談会を十月二十六日、当所ホールに於て開催、チラシ、折込広告を中心に広告の内容、表現の方法、広告の責任の所在又、広告向上のための方策等について懇談会を実施した。

尚この懇談会に先がけて広告（折込など）実態調査を十月十六日から二十日までの五日間、毎朝新聞に折込まれ家庭に配られた折込広告を収集すると共に、当所より委嘱した消費者調査委員により実際にその実態についての調査も実施した。これらの結果については日商宛に報告したが、これらの報告により日商では広告向上委員会が開催される予定である。

定例副会頭会議の開催

当所の定例副会頭会議は十一月二日・十六日及び十二月四日・二十一日、役員室に於て、河合、小山両副会頭出席のもとに、当面の事業報告及び計画、その他重要事項について協議された。

税の婦人教室開催

当所では奈良税務署との共催により、納税者の声をきく旬間の一環行事として去る十一月四日午后一時より奈良税務署において婦人の税教室を開催、当日は署内の見学及び〝くらしと税金〟と題するスライドを映写、日常生活と税金の関係を中心に熱心に勉強終了後税について懇談をなし活発な質疑応答がなされた。尚奈良市内商店の主婦十四名が参加した。

統一伝票普及指導説明会の開催

我が国流通部門の近代化、システム化が強く要請されている今日、これら流通活動の効率化をはかるための一環として取引用伝票の統一化について、昭和四十四年度より、全国の商工会議所を通じて普及員制度を設置、その普及を推進しているが、この趣旨にのっとり、当所でも次の通り説明会を開催した。

記

とき　十一月四日午後一時三十分
ところ　当所ホール
テーマと講師
昭和四十六年度流通システム化施策について

大阪通産局消費流通課
山添光男氏
統一伝票について
当所業務課長
木戸重巳
受講者　十三名

尚十一月二十二日、大和高田商工会議所に於て普及説明会が開催せられ当所木戸普及員を派遣した。

定例税務相談の開催

税の問題は、企業経営者にとって大きな比重を占めているが、この様なことから当所では、大阪国税局税務相談室より担当官を招いて毎月定期的に相談日を設け相談に応じている。十一月は特に納税者の声を聞く旬間でもあり、奈良県税事務所、奈良市税務部よりも担当官を招いて相談に応じた。十一月は八日、十二月は十五日に実施した。指導件数は計十五件であった。

尚この相談は、企業納税の立場に立っての個別相談でありますので、今後共、お気軽にご利用下さい。

記帳継続指導の実施

当所中小企業相談所では、青色申告者のための記帳指導を毎月実施しているが、十一月は八日―十一日、十二月は六日―九日まで各四日間実施した。十二月は決算期を控え特に多数の出席を得た。指導件数は計三十件であった。尚この指導は当所渡辺記帳指導員、岡安記帳専任職員が担当した。

若年従業員対策講座の開催

当所では、労務改善事業の一環として十一月九日（火）午後一時より三階ホールに於て、奈良県立短期大学教授橋爪勝次氏を講師に迎え、標記講習会を開催した。本講座は、労務担当者を対象に最近の若年従業員の考え方などの特性の把握、又企業人としての〝生きがい〟を持たせるにはいかにすべきかなど、定着対策の充実について、種々具体的な実例をあげ講義がなされた。

尚、参加者は十六名でした。

昭和四十六年度経営指導員研修会に出席

大阪通商産業局管内の経営指導員の資質の向上を計り、経営改善普及事業の効果的運用を期する事を目的として標記研修会が十一月九日～十一日の三日間にわたり、大阪府箕面市の大阪府勤労者いこいの家「みのお山荘」で大阪通商産業局管内の指導員約九十五名が出席して開催された。前回は基礎的なものであったが、今回は、実務的な「中小企業と税制」などで当所より大井、鈴木両指導員が出席した。

中小企業経営管理者研修会工場実習を実施

さる、十月十八日より、実施していた。中小企業経営管理者研修の工場実習を十一月十二日、研修会の総仕上として実施した。当日は、大東市の象印マホービン大阪工場を見学、工場長より同社の特徴等について説明を聞いた後、流れ作業にて、製造される電子マホービンの工程を見学し、同社の品質管理についての質疑応答がなされ、午前中の工場実習を終えた。午後より、東大阪市の伊藤工機㈱の工場見学を行なった。製造部長の「我社の管理について」という講話の後工場を見学し、工場実習を終え、引続き、中小企業経営管理者研修会の終講式が、県中小企業総合指導所主幹小松氏の出席をえて挙行され、席上小松氏は、現在中小企業をとりまく環境はきびしく、又これからもきびしさを増すだろうから、適接なる管理をして日本の中小企業から世界の中小企業に脱皮してほしいとお話をされ、二十七名に奈良県知事の終了証書が手わたされ、これで延八日間にわたった。昭和四十六年度中小企業経営管理者研修会も、無事終了した。

近商連運営研究会に出席

去る十一月十六日、大阪商工会議所に於て開催、近畿地区Cグループ十四商工会議所が参加して会議所事業運営について種々意見の交換をなした。当所よりは木戸主事が出席した。

勤労者財産形成促進法説明会に出席

十一月十六日午後一時三十分より、合同庁舎三階会議室に於いて奈良労働基準局、雇用促進事業団主催の標記説明会が開催され、雇用促進事業団調査役、板倉孝敬氏より、勤労者財産形成促進法のあらまし、及び制度のしくみ等が説明された。尚、当日は関係団体及び企業の担当者約六十名が出席、当所より鈴木指導員が出席した。

カウンセリング講習会開催

カウンセリングセミナー実務編として、十一月十六日（火）、午後一時より当所三階中ホールにおいて、関西カウンセリングセンター理事長、古今堂雪雄氏を講師に標記講習会を開催した。

本講座は産業カウンセリングの実例、ロールプレイングをおり混ぜて、職場で

当所　木戸課長　仲野主事
診断内容　一、店舗について
一、陳列について
一、品質表示、POP等について
一、店舗改造計画について
診断実施事業所
㈲あこや楽器店・大西洋服店・㈱奈良ドラッグストアー・㈱南口商会・のとや衣料店・阪奈家具

昭和四十六年度第六回経営指導員研修会に出席

米国のドル防衛策にともなう日本経済の影響についてダイヤモンド社社長石山四郎氏を講師とする標記研修会が十一月十八日午後1時より、農協会館、大会議室で、県下の経営指導員、企業経営者約250名を集め開催された。当所より、中村課長、吉田、大井、鈴木各指導員が出席した。

第二回景気対策会議開催

九月の第一回景気対策会議に引き続いて、第二回会議は十一月十九日（金）、午前十時から当所二階ホールに於いて、ゲストに小松県中小企業総合指導所主幹、川尻奈良市経済部長、大西国民金融公庫奈良支店長、安田商工組合中央金庫奈良支店長、由比奈良県立短期大学教授を迎え、当所河合副会頭、中村専務理事外十二氏の出席を得て開催した。

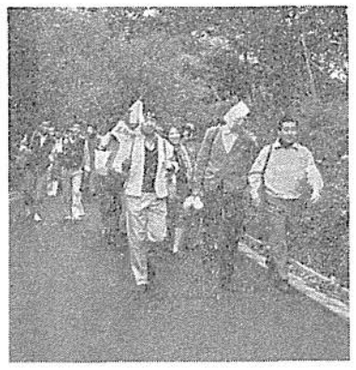
先ず河合副会頭の挨拶の後、和井田局長より、当所取りまとめの米国の貿易保護政策に対する地元企業への影響調査結果についての説明があり、（説明内容別掲）次いで県と各金融機関より三ケ月経過した現情勢下における施策と現況分析について各々報告があった後、種々意見の交換がなされた。

公害対策委員会の開催

十一月二十日、午前十時より当所二階ホールに於て小山副会頭、近東委員長外同委員及び関係正副部会長十氏の出席を得て開催。

当日は県公害課安本課長、今西係官をゲストに迎え、県公害防止条例と施行規則（案）について説明があった。

昨年十二月の国会に於て公害十四法案が成立、公害防止に対する規制もきびしくなり奈良県の公害防止条例も七月十日全面改正をなし、これに対する施行規則を制定十二月県会に提案することとなっていると前置き詳細に説明あり、引続き質疑応答に移り、公害関係融資、騒音等建設業界に大きな影響を及ぼし地域開発のネックになる。又公害防除技術等について活発な意見交換をなした。



第三十五回簿記能力検定試験の施行

十一月二十一日、正強高等学校に於て標記検定試験を施行、受験者一六三名の内、六四名が合格した。（合格率三九・三%）又級別では、二級二九名、三級三三名、四級二名が合格した。

尚、一級については、受験者四十名は、現在中央にて審査中。

浄瑠璃寺ハイキング開催

中小企業における従業員の定着性の向上などを推進し、福祉事業の一環として、十一月、二十三日（祭日）、奈良市観光商工課と共催で、標記ハイキングを実施した。

当日、国鉄奈良駅より関西線にて加茂

の諸経験や考え方など比較検討しつつ、カウンセリングの原理と過程について講師を中心に座談会形式で学習をした。尚受講者は十五名。

女子社員訓練講座開催

十一月十七日（水）、当所三階ホールに於て、午前十時より午後四時三十分まで、講師に日本事務能率協会の福田鶴代氏をむかえ標記訓練講座を開催、参加者は三十二名であった。当日は、会社における女子社員の立場、対人関係、話し方、応対のマナーなどをテーマに電話のかけ方、受け方の実習を盛り込んだ福田氏の講義は、自らの体験からにじみ出た自信と説得力に満ち、充実した講座であった。

商店（臨時）巡回診断の実施

当所では、最近の大型店等の進出により小売店をめぐる流通環境の変化に対処する店舗作りを目的に市内商店の巡回診断を実施した。

記

日時　十一月十七日、十八日の二日間
午前十時ー午後五時
診断班　当所専門診断員　村部嘉信氏
関西電力㈱奈良営業所
照明指導員

駅下車、駅前において、奈良市観光商工課桐木課長、当所木戸課長によるハイキング開催の挨拶後、最初の目的地である岩船寺に向って出発、七kmとやや長距離ではあったが、十二時前に、全員元気に到着、岩船寺境内で昼食するが、昼食後雨が降り出し、止むのを待ち予定を少し早めて浄瑠璃寺へ道をとる。途中、石仏を左右に眺めながら九体寺に到着、佐伯住職による、この寺の由来、国宝である阿弥陀如来坐像、四天王像、三重塔、重文である吉祥天立像の説明を聞き拝観を終え、約一時間の休憩後午後三時浄瑠璃寺前より、バス二台に分乗し奈良へ帰着。

天候が悪く、予定を少し変更したが、本日の全行程を踏破し、参加者六一名、全員少しの疲れもなく楽しい秋の一日を過ごすことが出来た。

第十五回全日本計算尺競技大会奈良県予選の施行

十一月二十八日、日本商工会議所、奈良県商工会議所連合会主催で、当所三階ホールに於いて一般、学生の部計二四名が参加して開催した。

一般の部　一位渡辺博明（松下電器）
学生の部　一位辻本保夫（御所工高）
二位中井基之（御所工高）
三位下田　充（奈良工高）

一般・学生の部を通じて最高得点者辻本保夫さんが奈良県一となった。

一月二十三日、東京商工会議所で行われる全国大会に、一般より渡辺博明さん学生の部より総合得点で一位の御所工高チーム（辻本保夫・中井基之・松尾清秀・尾崎本明）が奈良県代表として出場する。

奈良県観光土産品公正取引協議会監事会の開催

十一月二十五日（木）当所二階小サロンに於て協議会監事会が開かれ、出席者は松岡会長、南畝、西田、近藤各副会長浅田監事代理、河合監事、柳沢会計、当所より木戸課長、佐高主事であった。

第四十回計算尺技能検定試験の施行

十二月五日、県立奈良工業高等学校、正強高等学校に於て標記検定試験を施行。

受験者二八七名の内、九一名が合格した。（合格率三一・七%）級別では一級二名、二級五名、三級二四名、四級二八名、五級一一名、六級二一名でした。

第二回製墨業雇用対策懇談会の開催

去る八月の第一回開催に続いて、標記懇談会を十二月八日当所二階ホールに於いて開催した。

当日はゲストとして、奈良公共職業安定所鈴木所長、木村求人係長、市より桐木観光商工課長、業界より福井工芸部副会長外九名、当所よりは和井田局長、木戸課長が出席、今回は特に若手労働者雇用問題について、活発な意見交換をなした。

札幌オリンピック冬季大会に対する協力についての申し合せ

日本商工会議所

札幌オリンピック冬季大会は、今年二月札幌において開催される。その運輸準備は、札幌オリンピック冬季大会組織委員会を中心に着々すすめられているが、過去の東京オリンピック大会、日本万国博覧会に続く国家的行事であり、全国商工会議所としてもこの栄誉ある大会に積極的に協力し、これが成功するよう左記のように申し合わせる。

記

一、札幌オリンピック冬季大会のムードの盛上げ

開会まであと一ヵ月余り迫った札幌オリンピック冬季大会に対する国民の関心を高めるため、各地商工会議所においては、札幌オリンピック冬季大会組織委員会等が実施する札幌オリンピック記念行事および各地における行事に関連して、商店街の協賛売出し、その他のPR事業を通じて札幌オリンピックムードの一層の盛上げに協力する。

二、内外観光客の接遇

(1)札幌オリンピックへの外人観客、選手、役員等に快よい日本の印象を与えるため、商工会議所としてもその組織を通じて、接遇の向上に一層協力する。また交通機関、宿泊施設、娯楽施設等の有効利用について、各関係機関と共に一段の配慮を行なう。

(2)多数の内外観光客を暖かく迎えるために、I・G・S（国際親善店）制度を実施するほか、観光土産品の品質向上等にも努力する。

(3)産業、文化、観光の紹介

札幌オリンピック会期中に訪れる外国観光客に自然美に恵まれ、伝統に育まれたわが国の真の姿を十分に理解して貰うよう努めることが肝要であるため、商工会議所においては、産業のみならず、文化、観光資源の紹介に一段と努力する。

奈良県観光土産品連絡協議会

十二月七日（水）午前十時より奈良保健所に於て連絡協議会が開かれた。当日の議件は「優良土産品審査会について」で種々協議した結果審査日は四十七年二月末とし会場は明治生命ホールとする事などを決め午後二時半終了、出席者は、奈良食品衛生協会、市観光協会、当所等幹事及び評議員八名が出席した。

米国の貿易保護政策による影響調査

米国の輸入課徴金をはじめとする一連の貿易保護政策とこれに対する我が国の変動相場制への移行、また円切上げ問題、更には特恵関税問題等は、我が国経済に大きな影響をもたらしておりますが、当所においてはこれらが地元産業界への影響についてその実態を把握するため、当所会員製造事業所を対象に調査をすすめておりましたが、七十九社より解答を得、その結果をここに取りまとめました。概要は次の通りです。

Ⅰ　項目別調査結果について

(1)今回のドルショック（課徴金、変動相場制）に影響について

項　　目	回答件数（件）	比率（%）
イ、直接影響を受けている	15	19.0
ロ、一般的な景気の沈滞の影響を受けている	32	40.5
ハ、これから影響を受けるように思う	20	25.3
ニ、影響は受けていない	11	13.9
ホ、わからない	1	1.3
合　　計	79	100.0

この項でみると直接的、間接的な影響があると回答したのは、四七社（五九・五%）で今後影響を受けそうだとの回答二〇社（二五・三%）を合わせると、全体の八四・八%と大多数を占め、影響なしと、答えたのは一一社で全体の一三・四%とわずかであり、これを業種別に見ると、

《繊維工業》　直接影響を受けているのは六社（二四・三%）、一般的な影響を受けている、又今後受けそうであると答えたのは、一六社（六四・〇%）で、影響ありとするものは全体の八八・三%となる。

《金属、機械器具工業》　直接影響を受けているのは三社（二〇・〇%）、一般的な影響を受けている、又受けそうであるとの回答は、一二社（八〇・〇%）で全業種が何らかの型で影響ありと答えている。

《化学工業》　直接影響は一社、一般的な影響を受けている、又受けそうであるとの回答は九社（五〇・〇%）で、全く影響なしが三社（一三・一%）である。

《工芸》　直接影響は二社（四〇・〇%）、間接的影響を受けており又、今後受けそうであると答えたのが三社（六〇・〇%）で全社が影響有りと答えている。

《その他製造業（木工、印刷等）》　直接影響があるのは、木工業、装粧品（クシ）等製造三社であり、間接的影響を受けている、又受けそうであると答えたのは、一二社（五七・一%）であるが、食料品関係は余り影響はない。

(2)影響がある場合、どのような形で現われて来るかについて

全体の不況感に伴う需要の減少が三四社（四一・〇%）と一番多く、次いで親企業からの受注減、一二社（一四・四%）、国内向競争の激化による売上高の減少、一一社（一三・二%）と続き、特に直接影響がある輸出契約の減少が九社（一〇・八%）となっている。

項　　目	回答件数（件）	比率（%）
イ、輸出契約の減少による取引高の減	9	10.8
ロ、親企業からの受注減	12	14.4
ハ、親企業による下請単価の切り下げ	7	8.4
ニ、操業短縮による生産量の減少	2	2.4
ホ、全体の不況感に伴う需要の一般的な減少	34	41.0
ヘ、国内向競争の激化による売上高の減少	11	13.2
ト、その他	8	9.8
合　　計	83	100.0

《繊維工業》　全体的な不況感に伴う需要の減少が一二社（四〇・〇%）、国内向競争の激化による売上高の減少、七社（二三・四%）、その他には輸出契約の減少、下請単価の切り下げ等が続いている。

《金属、機械器具工業》　親企業からの受注減八社（四〇・〇%）、親企業による下請単価の切り下げ四社（二〇・〇%）、一般的な不況感による需要の減少四社（二〇・〇%）となっている。

《化学工業》　親企業からの受注減四社（三三・三%）、全体の不況感による需要の減少四社（三三・三%）、その他国内向競争の激化による売上高の減少等が続いている。

《工芸、その他製造業》　直接的影響が余りないので間接的な影響として、全体の不況感に伴う需要の減少が一四社と、全体の六七・〇%を占めている。

(3)経営状況について

資金繰、収益とも大半が普通、在庫、生産はほぼ適正と答えたのが約七〇%となっている。

《繊維工業》　資金繰、在庫、収益、生産ともほぼ適正あるいは普通であるとの回答は二〇社で全体の八〇%を占めている。

《金属、機械器具工業》

資金繰では苦しくなった六社（四〇・〇%）、在庫では過剰である（五社三三・三%）、収益が悪くなっている八社（五三・三%）、生産が減少していると答えたのは一〇社（七一・四%）と、機械、金属関係は現実に大きな影響がでているといえよう。

《化学工業及び工芸その他の製造業》

資金繰、在庫、収益、生産とも大多数が適正、あるいは普通と答えている。

(4)今後の不況対策について

項　　目	回答件数（件）	比率（%）
イ、業種転換を考える	0	0
ロ、当分休業する	0	0
ハ、輸出依存存から国内向けに重点を置く	5	4.8
ニ、輸出価格の引下げ	1	10.0
ホ、経営の合理化、近代化を進める	53	50.9
ヘ、減産を考えている	6	5.8
ト、製品の高級化、多様化を考える	32	30.8
チ、その他	7	6.2
合　　計	104	100.0

今後の対策としては、経営の合理化、近代化を進めて内部体質を強化するとの回答は五三社で全体の五〇・九%を占め、次いで製品の高級化、多様化を考えるが、三二社（三〇・八%）、減産を考えている六社（五・八%）、輸出依存から国内向けに重点を置く五社（四・八%）と続いている。

全業種とも平均して経営の合理化、近代化、製品の高級化、多様化を中心に考えており、特に減産を考えているのは金属、機械工業に五社、繊維工業に一社となっている。又、輸出依存から国内向けに重点を置いているのは繊維工業に二社、化学工業に一社、その他二社となっている。全企業とも何らかの形で今後の不況対策としての善処策を考えているといえよう。

(5)わが国全般の今後一年間の景気の見通しについて

わが国経済全般の見通しについては、一年以上の長期不況化傾向になるとの回答は四〇社で全体の半分で五〇・六%を占めている。

次いで、一年以内に持直すあるいはこのまま横ばいが続くとの回答はそれぞれ二二社（二七・八%）、一三社（一六・五%）となっている。

《繊維工業》　経済全般の見通しでは、一年以上の長期不況化傾向になるとの回答は一四社（五六・〇%）、一年以内に持ち直す六社（二四・〇%）、このまま横ばいが続く三社（一二・〇%）となっている。

《金属、機械器具工業》　経済全般の見通しでは、一年以上の長期不況化傾向になるとの回答は八社（五三・三%）、一年以内に持直す二社（一三・三%）、このまま横ばいが続く三社（二〇・一%）となっている。

《化学工業、工芸、その他製造業》　経済全般の見通しでは、一年以上の長期不況化傾向になるとの回答は一八社（四六・二%）、一年以内に持ち直す一四社（三五・九%）、このまま横ばいが続く七社（一五・七%）となっている。

(6)業界全般の見通しについて

項　　目	回答件数（件）	比率（%）
イ、景気は下降するが1年以内に持ち直す	15	19.0
ロ、景気は下降し1年以上の長期不況化	28	35.4
ハ、このまま横ばいが続く	30	38.0
ニ、間もなく景気は上昇するだろう	1	1.3
ホ、その他	5	6.3
合　　計	79	100.0

業界全般の見通しについては、このまま横ばいが続くとの回答が、三〇社（三八・〇%）、続いて景気は下降し一年以上の長期不況化傾向になるとの回答が、二八社（三五・四%）、景気は下降するが一年以内に持直すが、一五社（一九・〇%）を占めており、間もなく景気は上昇す

るだろうとするところが一社となっている。

《繊維工業》　一年以上の長期不況化傾向と答えたもの一〇社（四〇・〇%）、このまま横ばいが続く、九社（三六・〇%）、景気は一年以内に持直すが四社（一六・〇%）の順となっている。

《金属、機械器具工業》　一年以上の長期不況化するとの回答は八社（五三・三%）このまま横ばいが続く四社（二六・七%）である。

《化学工業、工芸、その他製造業》　このまま業界の景気は、横ばいが続くと答えたもの一七社（四五・六%）、続いて景気は一年以内にもち直す一〇社（二五・七%）、一年以上不況は長期化する一〇社（二五・七%）となっている。

円切上げ 一六・八八%に決定

昨年十二月十九日に通貨の多国間調整が決着し、円の切上げがついに決まった。新為替レートは一ドル＝三〇八円、ドルに対する切上げ率は国際通貨基金（IMF）方式で一六・八八%と予想以上に大幅なものとなった。又、ドルは金に対して七・八九%切下げられ、一オンス＝三八ドルとなり、為替変動幅も各上下一%から二・二五%へ拡大され、米国の輸入課徴金の撤廃も決まった。これにより円の対ドル相場は三〇一円七銭―三一四円九三銭の間で動くことになった。

各国通貨切上げ率

通貨名	ドル対切上げ率	金への調整率
日本・円	16.88%	7.66%
西ドイツ・マルク	13.57	4.61
スイス・フラン	13.57	4.61
オランダ・ギルダー	11.55	2.75
ベルギー・フラン	11.55	2.75
フランス・フラン	8.57	0
英国・ポンド	8.57	0
イタリア・リラ	7.48	△1.00
スウェーデン・クローナ	7.48	△1.00
カナダ・ドル	変動制	変動制
米国・ドル	——	△7.89

（△印は切下げ）

為替変動幅　上下各2.25%（従来同1%）

金価格　1オンス＝38$\frac{1}{9}$（従来35$\frac{1}{9}$）、引上げ率8.57%

主要通貨の換算表　（大蔵省試算の暫定値）

	円換算（同旧換算）
フランス・フラン	60円20銭（64円82銭）
西ドイツ・マルク	95円56銭（98円36銭）
イタリア・リラ	52銭9厘7毛（57銭6厘）
英国・ポンド	802円56銭　（864円）
米国・ドル	308円　（360円）

（注）マルクとリラの旧換算は変動相場制下の最近の裁定相場。

Ⅱ　まとめ

今回のこの調査を以って、直ちに奈良経済界の実態と判断することはむづかしいが、本調査でみる限りに於て、当経済界はアメリカの貿易保護政策による直接的な影響よりもむしろ、これらより生ずる不況感による需要の減少等によって、ほとんどの企業が影響を受けている。その反面大勢は資金繰り、及び在庫に於ても適正、収益についても普通、生産に於てもほぼ不変と答えていることは、輸出関連企業が少なく、又比較的輸出依存度も低いためと思われる。しかしながら輸出関連企業に於てはやはり一様に資金繰、在庫、収益、生産等についての業績は悪く、また今後の見通しも悪く、不況対策としては国内向けへの重点切変え、減産等を考えている。ただ、現時点では、業種転換及び一時休業等については回答を寄せた企業はない。今後の経済情勢の見通しについては、一年以上の長期不況と多くの経営者が見ているが、業界の見通しとなるとこのまま横ばいが続くが$\frac{1}{3}$以上を占め、やや強気の見方をしている。今後の不況対策としては、合理化、近代化を進める、又製品の高級化、多様化を進めたいとするものがほとんどを占め自助努力の心構えを見せている。国等の行政機関へは輸出関連緊急特別融資の早期実施、又一般的には企業の体質強化のための融資、税制面での抜本的施策を求めており、中小企業に対するキメのこまかい行政を特に期待している。

観光ミニ情報

日商常議員会で「昭和四十七年度税制改正に関する要望」を採決
＝ホテル・旅館の固定資産税および料飲税についても要望＝

昨年十一月十八日に東商ビルで開催された日本商工会議所第一九一回常議員会において「昭和四十七年度税制改正に関する要望」が採決された。この要望は、政府の明年度税制改正にもりこんでもらうように強く働きかけたもので、国税、法人税、地方税関係と広い範囲にわたっているが、観光関連のものとして、かなりの商工会議所から要望されていた。ホテル・旅館の固定資産税の課税標準の特例と、料飲税の免税点引上げ、公給領収書簡素化の二つが要望された。観光関係要望個所は次のようになっている。

※地方税の固定資産税の項で「国際観光ホテル整備法による登録ホテルおよび旅館に対しては、課税の標準の特例を認められたい。」

※地方税の料理飲食等消費税で「最近における国民観光の普及および物価の上昇等を勘案し、現行の基礎控除と、宿泊およびこれに伴う飲食に対する免税点を、それぞれ引上げるとともに、公給領収書の様式ならびに提出方法を簡素化されたい。」

「車レジャー」の横綱格商品 〝キャンピングカー〟

キャンピングカーは、昭和四十九～五十年ごろ爆発的に普及し巨大な市場が出現すると、日本オートキャンプ協会ではいっている。

いわゆるオートキャンプという大型レジャーの出現に伴い脚光を浴びているキャンピングカーは、米国では十年前に人気を呼びはじめた。欧米のキャンピングカー発達史からみると、自動車需要が一巡し、その屈折点を迎えたあとに〝キャンピング・カー時代〟が到来している。

わが国のレジャーの中心も、しだいに戸外での〝動くレジャー〟に移ろうとしているし、さらに休日も増加傾向にあり、キャンピングカー時代到来は意外に早いのではないかといわれている。

現在の全国保有台数は一、五〇〇台程度だが、五十年頃までには、四〇〇倍の五〇万～六〇万台になるというから、大変なものである。価格は、標準で五〇万円、はやくも三〇社以上のメーカーが巨大市場を狙い生産活動を開始している。

大規模レクリェーション都市、六十年までに二〇カ所を建設

建設省の大規模レクリェーション都市の建設は、運輸省と大規模レクリェーション地区などと並んで、大都市圏から生ずるレクリェーション需要に即応できるようその建設が強く望まれているが、建設省では近く省内にプロジェクトチームを設け、大規模レクリェーション都市の建設に本格的に取り組むことになった。

人間主導の観光開発を放置すると、国土のスプロール（虫食い）現状や乱開発が進み、国土資源の有効利用を妨ぐため、国が主導権を握って、健全なレジャーの場を国民に提供しようというもので、具体的には、昭和六十年までに高速道路や鉄道の大量輸送可能地点から三〇キロメートルまたは、一時間以内の区域に全国で二〇カ所程度（人口五〇〇万人に一つ）のレクリェーション都市を配置することを目標としている。

パリの博覧会国際事務局、沖縄海洋博を許可

通産省は、昭和五十年開催を目標に、復帰後の沖縄で、世界初の国際海洋博開催申請をパリの博覧会国際事務局に出していたが、十一月二十五日国際事務局から外務省を通じ、正式に開催許可の通知が届いた。規定により、今後四カ月間に他国の競合申請がなければ、万国博に続いて正式に国際博開催が決る。まだ、開催地がきまらず難航しているが、近く琉球政府が主体になって正式決定する。通産省では、省内に国際海洋博準備室を設け、細目の決定を急ぐ一方、博覧会協会を発足させたい意向である。

訪米外客数、日本が一位に

国際観光振興会サンフランシスコ事務所からの報告によると、このほど米国政府から公式に発表された。四十六年一月～六月の訪米外客数によると日本が英国を抜き、ついに第一位を占めた（カナダとメキシコは除く）こうした日本人の海外旅行者の激増ぶりは内外の観光業界に一層の驚異と関心を呼び起している。訪米外客数（一九七一年一月～六月）は次のように発表されている。

日本一四五、五六九人、
英国一二五、六〇六人
ドイツ八五、一九八人、
フランス五一、三一四人

最近、日本経済の米国への進出が、日本の侵略としてセンセーショナルな話題を呼んでいるが、日本人観光客の増大は歓迎される侵略として大いに評価されよう。

上手な話し方

元NHKアナウンサー　今福　祝

顔形が異なるように、人の話し方にもそれぞれに特色があり、また聞き手の好みもまちまちだから、一概にこれが上手な話し方であると断定するのはむずかしい。要は聞き手を惹きつけて話の中味がよく理解され、また面白く、そしていつまでも残っているような話が、まず一般に上手な話し方だといえよう。

聞き手の立場になって話す

では、そのような話し方をするにはどんなふうにしたらよいか……と考える前に、いまの自分の話し方はどうだろう。どの点を直したらよいかを反省し考えるほうが先決だろう。

「自分はどうも話し下手で、人前では思うように話ができなくて困るんですよ」という人が多い。確かに人前で話をするのはむずかしい。しかし下手だという人でも、日常家族や友人に話すときは、少しも気おくれすることなく話しているのに、大ぜいの人の前だとうまく話せない。つまり上がったり緊張したりして、思っていることの半分も話すことができず、終ってから「あーあれも落した。これも話さなかった。」と悔やんだり、話の途中で辻褄が合わなくなって冷汗をかいたと嘆くのが普通である。

こういった苦い経験は誰でも味わうが、ではどこにその原因があるのだろう。内容に対する自信のなさもあろうが、それ以前に周囲の目を気にすること。言い換えれば、こんなことを言ったら笑われないか。くだらぬ話だと軽蔑されるだろう。もっと程度の高い言葉で……といった思い過しがこのような結果を生むといえる。

これは全て相手、つまり聞き手のことを考えずに、自分をよりよく見せようと思うからである。誰でも自分が可愛いから、目も心も自分のほうに向くのは当然としても、これではいつまでたっても自分なりの上手な話し方はできない

話すことに慣れるのも上手になる一つの方法だが、慣れても聞き手を考えずにペラペラ喋ったら



一人相撲となり、自分は満足できても、聞き手は少なくとも上手だとは思わないし、満足もしない。

難解な表現は避ける

では、どんな点に心を配ったらよいか。最も大切なことは、聞き手の立場になることであるが、これだけは心得ておきたいと思う主なことをあげてみよう。

話の材料が豊富なのはよいが、全部を話そうとすると整理がつかなくなり、また横道にもそれてしまう。そのため聞き手は振り回わされて頭が混乱し、理解どころか聞く意欲を失ってしまう。そこで話の区切りをはっきりとさせて常にテーマに結びつけるように努め、さらに身近な具体例をとりあげて話すと聞き手も納得し、また印象を深めることになる。

次に難解な表現は絶対に避けなければいけない。話をむずかしく話すのは易しいが、やさしく

分りやすく話すのはむずかしいといわれる。ことに専門的なことを素人に話すときのむずかしさは、子供に話を分らせるのと同じで大変むずかしい。話の一番大切な点は、自分の話す内容を聞き手に理解してもらうことである。だから中味をくだいて話すとともに、聞き手の誰もが分る言葉を使い、むずかしい言葉や外来語、専門語、略語の類はなるべく使用しないようにする。ところが、とかく自分を偉く見せようとして、これらの言葉を連発する人がいる。聞き手が分るならそれでもよいが、分らないとその言葉とその前後の意味は全く空白となり、聞き手に不満感を与える。従って話す前に、まず聞き手がどんな人かをよく見極め、用語には注意したいものである。

なお外来語の場合、本来の意味をとり違えていわゆる日本式の使い方をしている人もいるがこれは、日本語そのものにもよくある。例えば癒着という言葉は本来、分離しているべき生体の器官の組織面が、繊維性の組織で連結、融合するという生体の場合にも使う言葉なのに、財界と癒着しているといったり、感触も手ざわりとか外界の刺激にふれて感ずるといった肉体的なものが雰囲気のように大気とか、会合などの一般的な気分のほうに使われ始めている。

また、日本語には同音異義語が多いので、聞き手が誤解し曲解することがある。先日、朝日新聞に「心なごむ車内放送」と題して明朗な車掌さんの話がのっていた。それは川崎と立川を結ぶ国鉄南部線に久地（クジ）という駅があり車掌が「まもなくクジです」とアナウンスしたら、初めてこの路線に乗ったと思われる客が車掌室まできて「まもなくクジといったが、今は十時ではないか。時間に正確な国鉄が一時間も遅れた車内放送をしては大変困る」といった。以来「クジエキ」と言い替えたと面白おかしく記されてあった。

この式のものは、全国には数多くあると思うが、それ以上に困るのは発声 発音に無関心な人で、これほどききづらく、抵抗を感ずるものはない。内容がいかに立派でも、その場に合わぬ発声でボソボソと一人ごとのようでは、聞く意欲は全く起らない。また口の開きが不十分で不明確な発音は、聞き手をイライラさせ、非常に疲れを覚える。そしてこのような人に限って、話し方に欠くことのできぬ変化、すなわち緩急間（ま）明暗、抑揚といった要素が欠けて、一本調子となり、聞き手を飽きさせ、眠気をもよおさせる。さらに気おくれから「アノー」、「ソノー」が多く、話し方が不安定で聞き手の不信感をまねく因になる。

情熱を傾けて個性味ある話術を

このように、聞き手の立場になって話すのが大切だが、一方、話し手は聞き手がどんなものか知る必要がある。聞き手は必ずしも話し手の話を全くきいているわけではない。聞き手の立場は自由であるから、話し中に話とは無関係の全く別の事を考えていたり、周囲の動きなどに気をとられたりしている。その間は話を少しも聞いていないのである。

そこで、こうした聞き手を話し方に惹きつけるため、聞き手に関心のある興味深い材料と、それからどうなる…といった。ワクワクする気持を持たせる話し方をし、重要なことは、なるべく繰り返すように努める。結局、上手な話し方とは、聞き手の立場を忘れないで、つまらぬ話も面白くきかせるように工夫し、単なる小手先の技術ではなく、情熱を傾けて、個性味ある話術を存分に発揮することといえよう。

筆者略歴……
大正元年東京生れ。早大政経科卒。昭年十三年日本放送協会アナウンサー。十六年南方総軍報道部勤務で仏印サイゴンに一年滞在。帰国後ニュース、前線へ送る夕、開票速報など担当。戦後は農家へ送る夕、開票速報の司会。TV放送開始後テレビニュース担当。四十三年理事待遇。四十五年定年退職しNHK中央研修所顧問。四十六年藍綬褒章受賞。

昭和四十七年度
初任給調査まとまる

現今の中小企業をとりまく労働事情は、新規学卒者の絶対量の不足と相まって年々逼迫の度を加えつつあるなかにドル・ショックによる今後の雇用動向にもかなりの変化があるものと予想されます。かかる情勢下にあって、昭和四十六年三月の学卒者の初任給実態と昭和四十七年度の学卒者の見込初任給を把握し、企業の賃金管理と求人に関する基礎資料に供する目的で、任意抽出法による奈良市内事業所二〇〇社を対象に調査を進めていましたが、九七社より回答を得、左記の通り取りまとめを致しました。

〔Ⅰ〕業種別・職種別初任給について

(1)高校男子の部

1　昭和四十七年度見込に於ける全業種平均初任給は、作業職三八、一六九円、事務職三八、二三二円、技術職四〇、四五五円で全業種を通じての最高額は技術職の六六、〇〇〇円、最低額は事務職の二五、六〇〇円であった。

2　業種別にみると製造業では、技術職四一、一一七円、作業職三八、二三七円、事務職三七、八七四円の順で最高額は技術職の六六、〇〇〇円で最低額は作業職の三二、五〇〇円である。

物品販売業は、事務職三八、二九三円、作業職三八、〇四五円、技術職三七、〇〇〇円の順で、最高額は事務職の四九、七〇〇円、最低額は作業職・事務職の三五、〇〇〇円であった。サービス業に於ては、作業職・技術職に該当するものがなく事務職三七、六五〇円で、最高額四五、〇〇〇円、最低額二五、六〇〇円であった。

(2)高校卒女子の部

1　昭和四十七年度見込の全業種平均初任給は、作業職三七、〇三五円、事務職三六、七一七円、技術職四〇、三五六円で全業種を通じての最高額は、技術職の四八、六五〇円、最低額は事務職の三〇、〇〇〇円であった。

2　業種別にみると製造業は技術職三八、七一〇円、作業職三五、九六七円、事務職三五、七八六円で最高額は各職種とも四五、〇〇〇円、最低額は作業職の三〇、〇〇〇円となった。

物品販売業では、技術職四一、三二五円、作業職三七、八一三円、事務職三六、五三九円で、最高額は技術職の四八、六五〇円、最低額は事務職の三〇、〇〇〇円であった。

金融業では、事務職のみで平均額四〇、一二五円、最高額四一、〇〇〇円、最低額三九、五〇〇円であった。

(3)中学卒の部

1　中学卒の昭和四十七年度見込に於ける全業種平均は、男子が作業職三三、五四四円、事務職三五、五四八円であり、女子は作業職三三、〇八四円、事務職三四、九三〇円、最高額は男子が四八、〇〇〇円、女子が四六、〇〇〇円、最低額は男女共作業職の二八、〇〇〇円であった。

2　男女間の賃金格差をみると、四十七年度見込は六〇〇円程度と四十六年度に比べて縮少した。

(4)大学卒の部

1　昭和四十七年度見込の全業種平均初任給は、男子が作業職四七、〇八三円、事務職四七、一二〇円、技術職五〇、一一三円の順で全業種を通じての最高額は技術職の八五、〇〇〇円、最低額は事務職の四〇、〇〇〇円であった。業種別にみると、製造業では技術職五〇、九三六円、作業職四六、八三二円、事務職四六、五四五円で、最高額は技術職の八五、〇〇〇円、最低額は事務職で四〇、〇〇〇円となった。

物品販売業は、事務職四八、六五〇円、作業職四七、五〇〇円、技術職四六、〇〇〇円の順で最高額は事務職の六二、七〇〇円、最低額は作業職・事務職の四二、五〇〇円であった。

尚、大学卒女子の四十七年度見込と短大卒については回答数僅少につき説明は省略

〔Ⅱ〕企業規模別初任給

(1)中学卒について

1　企業規模別の中学卒男子の昭和四十七年度見込初任給は、五〇人以下三七、五七一円、一〇一人～二〇〇人三五、一八九円、二〇一人以上三五、〇七一円、五一人～一〇〇人三三、四九円、一〇一人～二〇〇人三四、一四三円、五〇以下三三、〇〇〇円、一〇一人～二〇〇人三二、五七〇円の順となった。

2　女子にあっては、二〇一以上三六、六四三円、五一人～一〇〇人三四、一四三円、五〇以下三三、〇〇〇円、一〇一人～二〇〇人三二、五七〇円の順となった。

(2)高校卒について

1　高校卒に於ける男子の昭和四十七年度見込は、五〇人以下四、〇四八円、五一人～一〇〇人三八、七四八円、一〇一人～二〇〇人三八、七二八円、二〇一人以上三七、五六〇円の順であった。

2　女子にあっては、二〇一人以上三八、八〇〇円、五一人～一〇〇人三八、一一六円、一〇一人～二〇〇人三七、六三九円、五〇人以下三五、一八八円の順であった。

(3)企業規模間格差について

企業規模間格差については、昭和四十六年度でみると、中学・高校卒共男子においては、規模が小さい程初任給が高い傾向で、女子においては格差は余りみられない。昭和四十七年度でも、男子においては同じ兆候があらわれているが、女子については規模が大きい程高い傾向にある。

〔Ⅲ〕四十七年度見込初任給を本調査から見た特徴点

1　中学卒男女共平均初任給三五、〇〇〇円と四十六年度に比べて五、〇〇〇円の上昇を示し、最高額も四〇、〇〇〇円を突破している。

2　高校卒男女共平均初任給は四〇、〇〇〇円台に近づき、最高額も男子では六〇、〇〇〇円台、女子四八、〇〇〇円台となっている。

3　企業規模別に初任給（平均）を見ると、規模が小さくなる程高い傾向にある。

〔Ⅳ〕国・県への雇用政策の要望事項

(1)県内中・高卒者の県外流出防止策の実施

(2)青田刈を防止する強い政策

(3)厚生施設の建設

(4)失業保険制度の改正等

以上、特に中小企業に対する抜本的な施策を期待している。

学歴別・職種別初任給

男女別 / 年次別 / 職種別		男子 47年 作業職	男子 47年 事務職	男子 47年 技術職	男子 46年 作業職	男子 46年 事務職	男子 46年 技術職	女子 47年 作業職	女子 47年 事務職	女子 47年 技術職	女子 46年 作業職	女子 46年 事務職	女子 46年 技術職
中学卒	平均額	33,544	35,548	—	31,637	30,993	—	33,008	34,930	—	30,065	30,089	—
	最高額	48,000	42,000	—	48,000	37,000	—	46,000	42,000	—	36,000	36,000	—
	最低額	28,000	33,000	—	26,500	27,540	—	28,000	31,000	—	25,500	26,440	—
高校卒	平均額	38,169	38,232	40,455	34,640	33,935	35,895	37,035	36,717	40,356	34,335	33,340	35,007
	最高額	52,009	49,700	66,000	52,000	44,000	66,000	46,000	47,200	48,650	42,000	42,000	41,960
	最低額	32,500	25,600	33,000	26,000	23,000	27,000	32,000	30,000	34,000	25,000	22,000	28,640
短大卒	平均額	39,423	39,381	40,860	38,772	36,871	36,653	39,065	38,647	37,880	37,877	37,821	34,080
	最高額	43,000	46,000	44,000	48,000	48,000	40,700	42,000	45,000	38,760	46,000	46,000	37,100
	最低額	35,000	28,600	39,000	32,100	28,600	32,126	35,000	33,000	37,000	31,060	31,060	31,060
大学卒	平均額	47,083	47,120	50,113	44,102	43,565	50,884	42,520	44,593	—	40,837	42,334	—
	最高額	55,000	62,700	85,000	50,000	54,090	85,000	43,000	55,000	—	48,000	50,800	—
	最低額	42,500	40,000	43,000	35,100	31,600	35,460	42,060	42,000	—	34,360	34,360	—

◎企業に人材を！

人材開発コーナー速報!!

（自昭和46年11月10日～至12月20日分）

当所では奈良公共職業安定所の協力を得て標記コーナーを設け、ご好評のうちに積極的に求人開発を続けておりますが、11月以降の求職者のリストを一括取纏めましたので是非ご利用下さい。

なお、リスト中には既決定済のものもあるかと存じますので、その場合不悪ご諒承下さい。またご希望の向きは当所にお問合わせ下さい。

○男子の部

希望職種	求職人員
一般及び経理事務	13
総務及人事	1
機械技術師	2
営業	4
通訳(英米語)	1
倉庫管理	2
資材管理	1
部品管理	1
工場管理	1
喫茶バーテン	2
写真技師	1
配管工	1
電気通信技師	1
電気工事見習	1
クレーン・運転手	1
企業コルサルタント	1
製釘工	1
守衛	5
雑役	3
印刷出版業務	1

○女子の部

希望職種	求職人員
一般及び経理事務	23
タイピスト	2
寮母	2
単店労員	8
トレーサー	4
電話交換手	1
仕上組立	1
営業婦	1
看護伝手	1
家事助手	1
研究雑役	1

申込受付 7月1日～8月31日

《社宅建設》は住宅公団の特定分譲住宅を！

15～20年償還／年7.8%

- 特定分譲住宅とは、公団が会社や事業所の所有地（又は借地）にご希望の社宅や寮を建設しておゆずりする住宅です。
- 建設工事費は、公団の資金を規定により充当し15または20年間の分割払い（年利7.8%）で返済していただきます。
- 次回の受付は4月の予定です。

● 昭和46年度基準工事費（公団資金を充当できる限度）

種別		単位	基準工事費
世帯向住宅	50㎡未満	1戸当	1,410,000
	50㎡～55㎡	〃	1,520,000
	55㎡以上	〃	1,630,000
単身者共同宿舎		1人当	520,000
特殊基礎（杭打工事等）	世帯向	1戸当	60,000
	単身者	1人当	18,000
植栽・園地設備	世帯向	1戸当	10,000
	単身者	1人当	3,000
施設		1㎡当	27,000

※施設とは住宅等に併設される店舗、事務所等のことです

お問合せ先…

日本住宅公団大阪支所

分譲住宅課　大阪市北区玉江町2－1
ＴＥＬ大阪(443)5761

お申込み先…

奈良県土木部建築課

奈良市登大路町
ＴＥＬ奈良(22)1101

会員消息

★新入会員

商業小売部会
◆染と呉服はっとり　服部　巌太
奈良市学園北一丁目三の一〇
◆㈱井上酒店　井上　正三
奈良市上三条町七番地
◆中室洋服店　中室　治
奈良市中辻町六二ノ一
観光部会
◆茶の間吟　松井みち子
奈良市西木辻町瓦町
建設部会
◆東和設備工業所　平岡　清
奈良市東紀寺町一丁目三九番三〇七号
◆㈲村木熔工所　村上喜代美
奈良市西九条町三六二ノ一
交通運輸部会
◆杉山自動車商会　杉山　新二
奈良市古市町

★名称変更

◆新　㈱国際地域開発協会
旧　ウエスト国土建設㈱
◆新　興和メリヤス㈱
旧　興和莫大小㈱
◆新　フジタ工業㈱大阪支店
旧　㈱藤田組大阪支店
◆新　㈱椿本精工葛城工場
旧　㈱椿本精工奈良工場
◆新　江口日東証券㈱奈良支店
旧　江口証券㈱
◆新　㈱明工
旧　明工建材㈱
◆新　南都物産須賀商店
旧　須賀商店

★代表者変更

◆奈良近畿日産自動車㈱
新　大谷　行雄
旧　平尾　直一
◆植田蚊帳㈱
新　植田喜三郎
旧　大谷幸治郎
◆㈱京都相互銀行
新　岡波　泰造
旧　平塚勇喜雄
◆簡保加入者サービス協会
新　池田　正
旧　石川　正
◆江口日東証券㈱奈良支店
新　枝本　静正
旧　山下　忠哉
◆㈱森本組奈良営業所
新　奥田　惇臣
旧　奈良　茂
◆同和火災海上保険㈱
新　木村　正司
旧　藤井　善一
◆ふる里
新　斉藤　俊治
旧　斉藤　芳雄
◆㈲青垣商事
新　前川　勝
旧　佐藤　友子

★所在地変更

◆中本酒造㈱
新　生駒市上町一〇六七
旧　生駒郡生駒町字上一〇六七
◆日本交通公社奈良営業所
新　奈良市西御門町二八北川ビル
旧　奈良市角振新屋町
◆㈱武村組
新　奈良市山町九四
旧　奈良市下山町九四
◆㈲ホープ竹材工業所
新　生駒市高山町四一〇五
旧　生駒郡生駒町高山
◆谷村竹材工業㈱
新　生駒市高山
旧　生駒郡生駒町高山
◆簡保加入者サービス協会
新　奈良市二条町三丁目九番一号
旧　奈良市佐紀町
◆大阪インテリヤ
新　奈良市疋田町七四八
旧　奈良市疋田町七一八
◆久保正夫商店
新　生駒市高山町和田
旧　生駒郡生駒町高山
◆陽弘産業㈱
新　奈良市佐紀東町
旧　奈良市佐紀町
◆菊山組
新　奈良市三条添川桧町
旧　奈良市大宮町五丁目一番八号



昭和四十六年十二月二十八日印刷
昭和四十七年一月一日発行
編集兼発行人　奈良市東向中町六　中村貞三
印刷人　奈良市橋本町三六　乾太郎
印刷所　奈良市橋本町三六　奈良明新社
発行所　奈良市東向中町六　奈良商工会議所　電話奈良㈱六〇七五(代)

日本染織工業株式会社

取締役社長　越　智　岩　太　郎

営　業　種　目

輸出・内需・綿・スフ・純毛・化(合)繊・麻蚊帳その他の製織並に染色整理加工
A、製織(綿・スフ・純毛・化(合)繊・麻蚊帳地・服地・芯地・モスリン・その他)
B、染色(綿・スフ・純毛・化(合)繊・麻織物の染色整理加工「特に樹脂加工」)
(キリンモスリン・キリンウール特1号)

本社 本社工場	奈良市大宮町2丁目3番7号	電話奈良(33)4980・5751・5752 5753・5754
西大寺工場	奈良市西大寺町160	電話奈良(33)5755・5756
京都商事部	京都市下京区不明門(アケズノモン)通り六条下る	電話京都(361)5345(代)
大阪営業所	大阪市東区淡路町2丁目野口ビル	電話大阪(208)5908・6810

お二人のはばたきを
おごそかに演じます

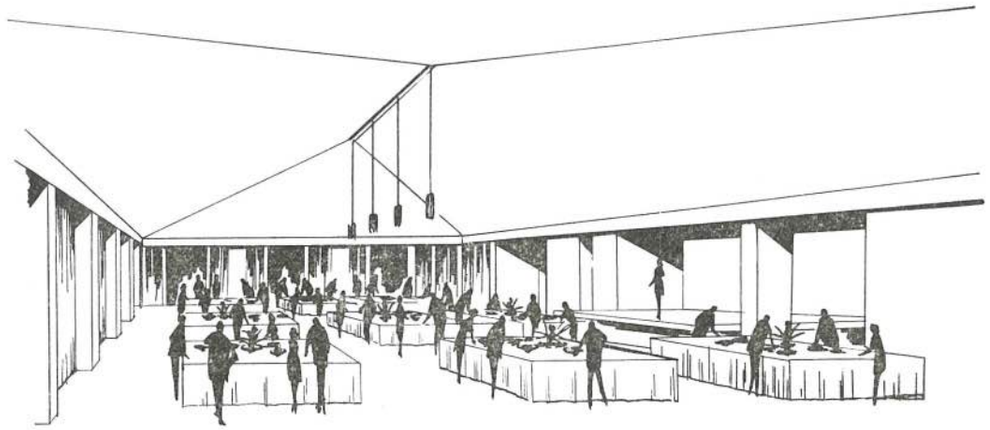
奈良唯一の結婚式専門の殿堂



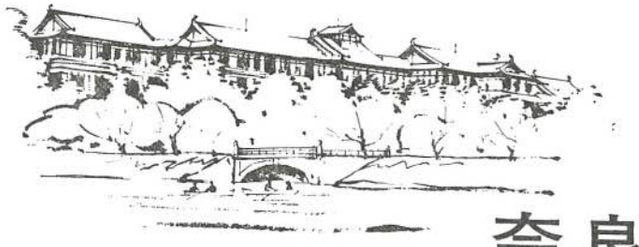
春日殿

奈良市法蓮町ドリームランド通り
(法蓮中町鴻池バス停前)
TEL (23) 代 6066

今年も皆様の近代合理的なご家庭の延長としてお気軽にご利用下さい



◀優雅な伝承美を現代にアレンジした新宴会場「金剛の間」
(奈良ホテル別館)近鉄奈良駅前上 電話 0742 (24) 3101



奈良ホテル

〈630〉奈良・奈良公園内　電話0742(23)4101
東京案内所　中央区銀座7丁目金城ビル　電話03(572)8301
名古屋案内所　中村区西柳町名古屋都ホテル内　電話052(582)7871
取締役支配人　浅　田　国　荘

近畿電氣工事株式會社

Kinki Electrical Construction Company, Incorporated.

取締役会長　大森久司
取締役社長　今元康彦
奈良支店長　岸井英夫

奈良県に本店のある

皆様の銀行

榮相互銀行

株式会社

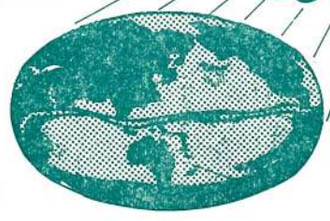
取締役社長　野村萬作

本店　奈良市下三条町八番地

支店　下市町、高田市、桜井市、天理市
五条市、上市町、奈良市西大寺町
生駒市東生駒、橿原市
大阪市南森町

品質と信用を売る

World Coffee



各国産輸入・焙煎加工
コーヒ・紅茶・ココア
並びに喫茶グリル材料卸

コーヒの御用命は

ワールドコーヒ

ARAI SHOTEN
KAMI SHI MIZU. T
NARA
奈良市上清水町1071
TEL(22)2814　(23)2814
ニワイシ

KING



◎部品部　各種外車・国産車部品
付属品、工具

◎用品部　日本ドライブショップチェーン加盟店
J. A. F. 取扱店
アクセサリー・ドライブ用品

株式会社 キング商會

奈良市杉ヶ西町35―2(専売公社通り)

TEL 奈良 (0742) 22―0106㈹

